金属と鉱物

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

鉱山のないハブ

シンガポールは金属鉱石を産出せず、精錬もほとんど行っていません。金属におけるシンガポールの役割は、商社がアジアのデスクを置き、銀行が鉱石や精鉱の輸送に資金を提供し、取引所がデリバティブを清算する場所としてのものです。現物の流れは、オーストラリア、ブラジル、インドネシア、フィリピン、アフリカの鉱山から、中国、インド、日本、韓国の製錬所や製鉄所へと直接向かいます。シンガポールが提供するのは、そうした買い手への近さ、アジアの取引時間をカバーするタイムゾーン、そして第E部と第F部で検討した法的・金融的インフラです。

大手の独立系トレーダーはいずれも、シンガポールに大規模な拠点を有しています。1993年にジュネーブでクロード・ドーファン（Claude Dauphin）とエリック・ド・テュルクハイム（Eric de Turckheim）を中心とするパートナーのグループが設立したトラフィグラ（Trafigura）は、本社所在地をシンガポールのオーシャン・フィナンシャル・センター（Ocean Financial Centre）としています。一方で、ジュネーブその他にも主要なハブを維持しています。金属・鉱物は同社の中核的な取引部門の一つであり、グルー

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

プは2025年度に2,403億米ドルの売上高を計上しました。[1] 形式上の本社所在地は、金属が実際にどこで取引されているかについて、グループ内のデスクの配置ほど多くを語りません。シンガポールが担うのは、アジアの買い手と売り手に向き合う機能です。第G部第V章では、商社全般についてこの点を述べています。

鉄鉱石とスワップの清算

鉄鉱石は、自国の海岸に一度も触れることのないコモディティについて、シンガポールがいかにして価格形成の拠点となったかを示しています。2010年まで、鉄鉱石は主要な鉱山会社と鉄鋼メーカーとの間で交渉される年間ベンチマーク価格で販売されていました。2010年初め、三大鉱山会社は指数に基づく四半期価格に移行しました。文献はこれを、40年続いた年間ベンチマーク価格の伝統の終わりと表現しています。[2] 指数価格方式は、製鉄所とトレーダーがヘッジを必要とする価格変動リスクを生み出し、それがデリバティブ市場を開きました。

シンガポール取引所は、この需要に備えていました。2006年5月に店頭デリバティブの清算サービスAsiaClearを開始した後、世界で初めて鉄鉱石スワップの清算・決済を導入し、それ以来、世界最大の鉄鉱石スワップの清算機関となっています。[3] これらの契約は、価格報告機関が公表する価格指数に対して差金決済されます。これにより、中国の製鉄所、オーストラリアの鉱山会社、シンガポールの商社が同じエクスポージャーをヘッジできます。大連にある中国国内の先物市場は競合する参照価格を提供していますが、外国の参加者には限られた範囲でしか開かれていません。シンガポールの契約は、国際的な参加者が利用しやすいこと、米ドル建てであること、そしてシンガポール法の下にある清算機関としての法的安定性から恩恵を受けています。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

第二の取引所であるシンガポール商品取引所（Singapore Mercantile Exchange）は、インドのFinancial Technologiesグループが所有していました。同取引所は2010年8月にシンガポール金融管理局（Monetary Authority of Singapore）から認可取引所の地位を付与され、金属、農産物、エネルギー、通貨の契約を提供しました。また、Metal Bulletinの指数に基づく鉄鉱石先物契約も上場しました。[4] その後、流動性はSGXの契約に集中しています。

ベースメタル、倉庫、ロンドン金属取引所

銅、アルミニウム、ニッケル、亜鉛、錫については、世界の参照価格は引き続きロンドン金属取引所（LME）です。同取引所は2012年から香港交易及結算所が所有しています。[5] LMEの契約は、承認倉庫に保管された金属のワラントの引渡しによって決済されます。シンガポールと隣接するマレーシアのジョホール港は、長年にわたり、そうした倉庫が置かれるアジアの拠点に数えられてきました。[6] 倉庫業は、貯蔵、物流、検査、ワラントを担保とする融資といった現物ビジネスを生み出します。

2022年3月のニッケル危機は、アジアの生産者とトレーダーにとってのこの市場のリスクを示しました。ニッケル価格が極めて急速に上昇したとき、LMEは取引を停止し、2022年3月8日に執行された取引を取り消しました。英国の高等法院は2023年11月に取引所の決定を支持しました。一方、金融行為監督機構（Financial Conduct Authority）は2025年3月、混乱を防止できなかったとしてLMEに920万ポンドの制裁金を科しました。[7] この一件にはシンガポールの側面もありました。アジアのエクスポージャーの多くが、シンガポールで活動する銀行やブローカーを通じて保有されていたからです。また、金属の価格形成のためにより強力なアジアの取引の場を求める人々の主張を後押しすることにもなりました。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

生産国の政策も、さらなる要素を加えています。世界最大のニッケル生産国であるインドネシアは、製錬投資を呼び込むため、2014年1月に未加工鉱石の輸出を初めて禁止しました。2017年に禁止を緩和した後、2020年1月から再びニッケル鉱石の輸出を閉ざしました。[8] この禁止により、取引は鉱石から、インドネシアにある中国資本の製錬所が生産するニッケル銑鉄やマットなどの中間製品へと移りました。シンガポールを拠点とするトレーダーと銀行は、これらの製品に資金を提供し、販売しています。ただし、産業投資そのものは中国からインドネシアへと流れています。インドネシアとの関係については、第I部第IV章でより詳しく検討します。

貴金属

シンガポールにおける金の歴史は、どの産業用金属よりも長いものです。2012年より前は、金地金の輸入と供給に物品・サービス税が課されており、シンガポールは香港やスイスに対して不利な立場にありました。2012年10月1日以降、所定の純度基準を満たす投資用貴金属の輸入と国内供給は非課税となっています。[9] この非課税措置は同税の非課税項目の一つとして掲げられています。同税の標準税率は2024年1月1日から9%です。[10]

この非課税措置は、精錬業者、保管庫運営者、ディーラーを引き寄せました。業界を代表するシンガポール地金市場協会（Singapore Bullion Market Association）は、シンガポールをアジア太平洋地域における有数の貴金属ハブにすることをビジョンとして掲げています。同協会のウェブサイトは、金取引ハブを発展させる国家計画に関する報道や、シンガポールが外国の中央銀行に金の保管サービスを提供する最初のアジアの国となり得るとの報道を紹介しています。[11] この構想は、制裁を懸念する法域の外で金を保有したいと考える中央銀行に役立つものです。シンガポールが提供するのは、信頼できる法制度と慎重な中立性の組合せです。この点については、第K部第V章でその地政学的な文脈の中で論じます。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

注

1. Wikipedia, “Trafigura”（2026年11月最終閲覧）：本社は“Ocean Financial Centre, Singapore”。1993年、クロード・ドーファンとエリック・ド・テュルクハイムを含む“by six founding partners”によりジュネーブで設立。地域ハブはジュネーブ、ヒューストン、モンテビデオ、ムンバイ。売上高“US$240.3 billion (FY2025)”。 ↩
2. Wikipedia, “Iron ore”（2026年11月最終閲覧）：2006年まで価格は“annual benchmark negotiations”で決められていた。2010年初め、三大鉱山会社は指数に基づく四半期価格に移行し、“breaking a 40-year tradition of benchmark annual pricing”。 ↩
3. Wikipedia, “Singapore Exchange”（2026年11月最終閲覧）：2006年5月にAsiaClearを開始して間もなく、SGXは“launched the world’s first clearing and settlement of iron ore swaps”、そして“the world’s largest clearer of iron swaps”となった。 ↩
4. Wikipedia, “Singapore Mercantile Exchange”（2026年11月最終閲覧）：所有者は“Financial Technologies Group”。2010年8月に“granted ‘Approved Exchange’ (AE) status by the Monetary Authority of Singapore”。取引対象は“Precious metals, base metals, agriculture commodities, energy, currencies and commodity indices”。Wikipedia, “Iron ore”（2026年11月最終閲覧）：Singapore Mercantile Exchangeは“has launched the world’s first global iron ore futures contract”。Metal Bulletin Iron Ore Indexに基づく。 ↩
5. Wikipedia, “London Metal Exchange”（2026年11月最終閲覧）：同取引所は“was purchased by Hong Kong Exchanges and Clearing in 2012”。 ↩
6. シンガポールとジョホール（マレーシア）は、ロンドン金属取引所のグッド・デリバリー地点として掲げられてきた。LMEの承認倉庫・地点一覧（lme.com）参照。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

7. Wikipedia, “London Metal Exchange”（2026年11月最終閲覧）：Elliott Managementは2022年3月8日に行われたニッケル取引の取消しをめぐり提訴した。2023年11月、高等法院はLME勝訴の判決を下した。2025年3月、金融行為監督機構はLMEに920万ポンドの制裁金を科した。 ↩

8. Wikipedia, “Nickel mining in Indonesia”（2026年11月最終閲覧）：“Indonesia is the largest nickel producer in the world”。2014年1月からニッケルを含む鉱物鉱石の輸出を禁止。2017年に禁止を撤回。2020年1月からニッケル鉱石の輸出を終了（“Indonesia to ban nickel exports from January 2020”）。 ↩

9. Goods and Services Tax Act 1993, Fourth Schedule、およびGoods and Services Tax (Investment Precious Metals)規則。IRAS, e-Tax Guide “GST: Guide on Investment Precious Metals (IPM)”。非課税措置は2012年10月1日から、純度99.5%以上の金、99.9%以上の銀、99%以上のプラチナに適用される。 ↩

10. Wikipedia, “Goods and Services Tax (Singapore)”（2026年11月最終閲覧）：非課税項目には“importation and local supply of investment precious metals”が含まれる。税率は“to 8% on 1 January 2023 and 9% on 1 January 2024”引き上げられた。 ↩

11. Singapore Bullion Market Association、ウェブサイト（sbma.org.sg、2026年11月最終閲覧）：ビジョンは「Singapore to emerge as a leading precious metals hub in the Asia Pacific region」。ニュース記事“Singapore unveils plan to become gold trading hub, build stronger ecosystem”：「Singapore could become the first Asian country to provide gold vault services for foreign central banks」。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com